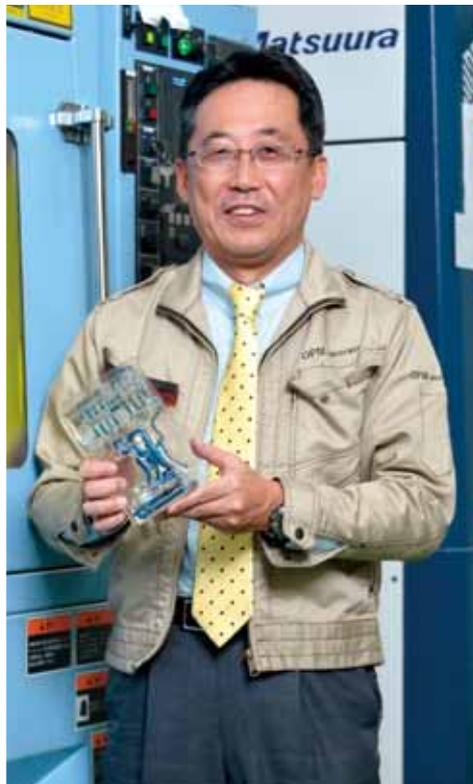
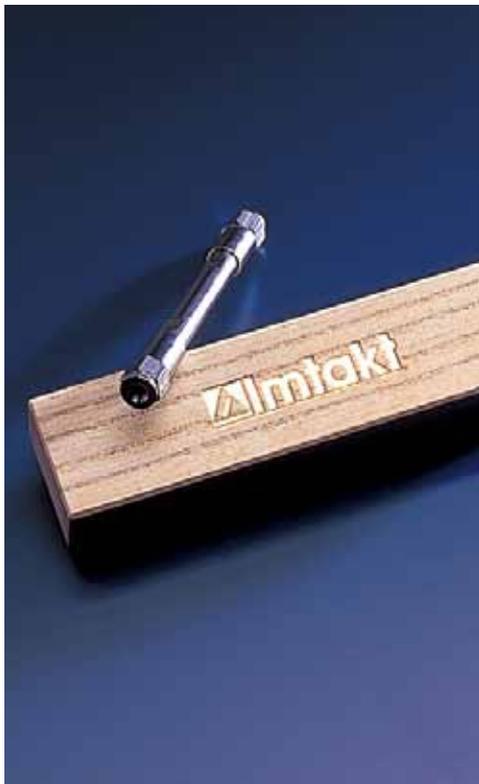


「人」と「人」が交わるフリーマガジン

# KRPPRESS 3

2013  
vol.129  
MARCH

特集：ものづくり企業とKRP地区  
躍進するKRP地区の「ものづくり企業」

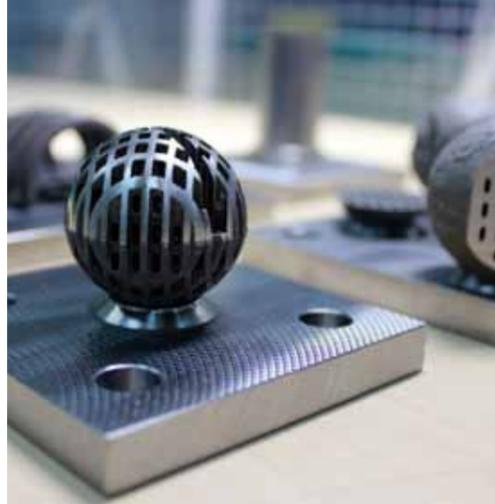


KRP

(中上)株式会社OPMラボラトリー 代表取締役 森本 一穂氏  
(左下)インタクト株式会社 取締役COO 矢澤 到氏  
(右下)エプソン 京都デジタル捺染センター 小林 和史氏／早風 隆行氏

# 世界水準の製品技術で躍進する KRP地区の「ものづくり企業」

「ニッポンのものづくり」の再生が待望されるいま、世界初の先端技術やグローバルな技術開発による取り組みで、大いなる飛躍が期待されるKRP地区の「ものづくり企業」に着目。地区内の支援機関によるサポート状況もまじえてご紹介します。



社内工場で稼働するM-PHOTON 25C、LUMEX 25C

金属光造形複合加工による製作見本

## 株式会社OPMラボラトリー (3号館)

設立/2004年 事業内容/金型設計・製作、金属光造形複合加工サービスビューロ、金属光造形複合加工の受託研究および用途開発、金属光造形複合加工用CAMなどソフト開発、販売、教育、サポートなど

### 世界初の金属光造形複合加工技術で 超短納期・コスト削減を実現

#### 金型業界の常識をくつがえす 画期的なワン・プロセス加工

多くの工程を必要とする金型製作を、レーザーを用いた金属光造形複合加工によって一つのプロセスで可能にする技術を開発した(株)OPMラボラトリー。OPMの社名は文字通り「One Process



代表取締役 森本 一穂氏

Machining」(一工程加工)に由来する。技術は、薄く敷き詰めた金属粉にレーザーを当てて熔融し、これにスピンドルで切削をかけ、この工程を何回も繰り返して立体的に積み重ねていくもの。それまでいくつかの部品に分けて製作し組み立てていたものが「ワンプロセス」で生産できるため、コストが大幅に削減でき、納期も約3分の1に短縮できるようになった。この技術で作った金型の特徴は、量産段階での成形サイクルの速さや量産に耐えうる硬度の高さ。樹脂を固める際に冷却水を流す水管を製品面に合わせて設計することで冷却の速度を速め、成型にかかる時間を圧倒的に短縮したのだ。

#### ソフトと生産の両輪による 高精度なものづくりで海外に

金属光造形事業は、経済産業省の戦略基盤技術力強化事業の一環としてスタートしたもの。社長の森本一穂氏は

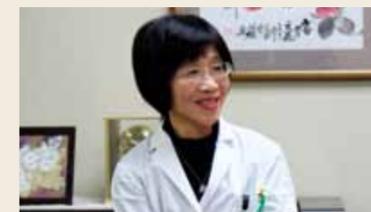
2003年から同事業に参画し、2004年に(株)OPMラボラトリーを設立、ソフトウェアの開発と同時に生産にも乗り出した。設立してしばらくは、レーザーの発振不良や精度の問題など不具合が頻発。「いつ会社がつぶれてもおかしくない状態だった」と振り返る。さまざまな問題点を克服し、3年後に実用化にこぎつけたものの、新しい技術は市場から信頼を得るのが難しく採用されるまでに大変な苦労を経験した。その一方で同社の金属光造形複合加工技術は2007年「ものづくり日本大賞」で経済産業大臣賞、アジアのサイエンスパーク協会(ASP)の「Excellent Prize」など国内外で受賞を重ねて着々と評価を高めていった。やがてリーマンショックを契機に、生産体制の変革に本腰を入れて取り組み始めた金型、成形業界も、同社の技術に門戸を開くこととなった。現在国内49社、海外19社と事業取引をしている。さらなる新技術の開発や販路開拓にも

余念がない。機械技術にはまだ改良点がたくさんあり、「精度いのち」の業種であるだけに、さまざまな検査や試験が欠かせない。しかし、これらをすべて自前で行うには費用も労力もかかる。同社では、京都府中小企業技術センターや京都市産業技術研究所の設備利用や依頼試験など、KRP地区内の支援機関をうまく活用している。森本氏は、「KRP地区内には支援いただける機関・団体が充実している。技術面でも経営面でも支援を受けられるのありがたい」と話す。

2012年に中国合弁立模激光科技有限公司を設立し、2013年に台湾合弁設立準備中で現地供給体制を構築している。森本氏は京都の強みとして、独創的なものづくりの土壌があることに加えて、京都の知名度も挙げる。「京都にあるから」という理由で、経営者が直接商談に赴いてくることも多いという。京都の魅力も武器のひとつに、メイドイン京都での新プロジェクトも起動しており、今後も京都を拠点に世界へ展開していく。

### KRP地区支援機関：京都府中小企業技術センター／関 浩子氏 機器貸付や依頼試験など多彩にサポート

京都府中小企業技術センターは府内の中小企業を対象に、技術の強化支援や人材育成、企業ニーズに応じた研究開発や産学連携の推進など多彩なサポートを実施。企業のものづくりに関しては、技術相談の他、研究開発に必要な材料の分析・評価、クレームがあった場合の検査などに必要な機器貸付や依頼試験などに対応しています。(株)OPMラボラトリー様では、走査電子顕微鏡による微小部分の観察やICP発光分光分析装置による金属粉末の最適化開発のために当センターを利用されています。平成23年度には年間のべ約1900件の機器貸付、約1400件の依頼試験の利用がありました。経営支援を行う(公財)京都産業21とともに技術と経営をワンストップで総合的にサポートしていますので、ぜひお役立てください。

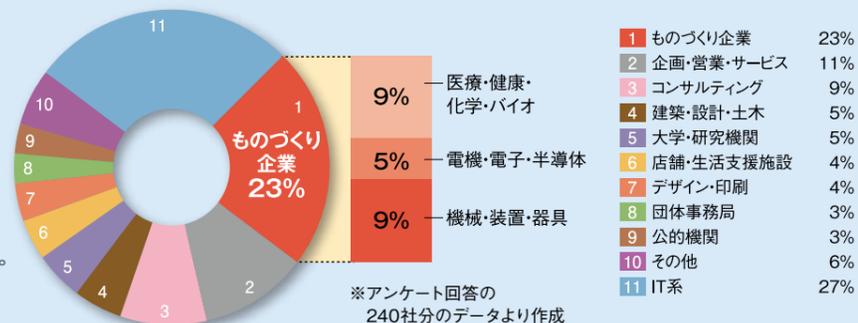


(写真上)「会社の実験室みたいに利用してもらえたら」と主任研究員の関浩子氏 (写真中)ICP発光分光分析装置 (写真下)走査電子顕微鏡

### ■ KRP地区で活動する企業・団体の業種

多岐にわたるKRPの入居企業約300社のうち、ものづくり企業は20%を超え、全体の5分の1を占めています。

※入居企業の詳細は、KRPホームページ <http://www.krp.co.jp/krepeople/> でご覧いただけます。



### ■ KRP地区のものづくり企業支援機関・サービス

KRP地区にはものづくり企業を支援する機関やサービスが揃っています。企業ニーズに合わせ、最適な機関やサービスをご利用ください。

- 京都府中小企業技術センター
- (公財) 京都産業21
- (財) 京都高度技術研究所
- KRP(株)再生医療試作サポートプラットフォーム
- バイオ計測センター
- 光学技術基盤プラットフォーム



## エプソン 京都デジタル捺染センター (KISTIC)

設立/2011年 事業内容/インクジェット捺染印刷機「モナリザ」の営業および顧客サポート活動(セミナー開催、機器デモンストレーション、デジタルプリントの体験)

### イタリアとの共同開発による新鋭機で 京都からデジタル捺染の新風を



インクジェットデジタル捺染印刷機「SurePress FP-30160」



技術開発本部FA機器エキスパート  
小林 和史氏



技術開発本部FA機器エキスパート  
秋山 民夫氏

### インクジェット捺染機「モナリザ」を 伊のトップメーカーと共同開発

セイコーエプソン(株)は2003年、プリンター事業で培った独自のインクジェット技術を生かして、イタリアの捺染機械のトップメーカー、ロブステリ社とインクジェット捺染印刷機「モナリザ」を共同開発。日本市場開拓のため、2011年に営業と顧客サポートの拠点「エプソン京都デジタル捺染センター」をKISTIC内に設けた。技術開発本部の小林和史氏は「伝統的な捺染ビジネスのハブである京都から新しい捺染文化を発信できるのでは」と、センター設置の意義を語る。イタリア

芸術・ルネサンス(復興)の象徴「モナリザ」の名を戴く産業用インクジェット捺染印刷機は、優れた色彩の再現性のもとより、製版工程が不要で「多品種・小ロット・短納期」に対応できる高度な性能が特長。伝統捺染の地として栄え、アジアの新興勢力に押されて衰退しつつあったイタリア・コモ地区はこの「モナリザ」の台頭で、既に復活を果たしているという。

### 伝統捺染の地・京都を 新たなデジタル捺染の集積地に

「京都は全国の産地にもアクセスがいい」と話すのは同本部の秋山民夫氏。「モナリザ」の機能を継承した低価格

の新機種「SurePress」で、国内向けの営業を京都から展開する。今後の事業発展のカギを握るのは、最新鋭の捺染技術を生かした新たなデザインコンテンツや製品アイデアだという。日本ならではの染色美を保ちつつ、デジタル捺染にしかできない表現を活かした消費マインドに響く「ものづくり」だ。同センターでは、技術支援や情報交換をはじめ、KRP地区入居企業との交流や産学公連携によるデザインプロジェクトなども、活用していきたい考えだ。「京都のデジタル捺染」の新拠点として繊維業界の関心も高く、大きな期待が寄せられている。

### KRP地区支援機関:京都市産業技術研究所/杉浦 和明氏・向井 俊博氏 技術移転や試験・分析など4本柱で多角的に支援

京都のものづくり中小企業を対象に、技術移転・指導、研究開発、試験・分析、人材育成の四本柱で技術支援を行っています。エプソン京都デジタル捺染センター様では、サンプル品の捺染の際に京都市産業技術研究所の前処理加工用のパターと後処理加工用の蒸熱機を使用。当研究所が長年培ってきたテキスタイルブ

リントの経験を基に、事業発展につながる実践的なサポートを行っています。デジタル捺染技術の世界的な動向や捺染技術を活用した「ものづくり」について、当研究所が運営する京都染色研究会にも参加され、広く情報発信することで、デジタル捺染関連企業や地場業者との交流を図られています。



(左)京都市産業技術研究所 材料技術グループ 繊維系材料チーム 研究担当課長 杉浦 和明氏  
(右)京都市産業技術研究所 加工技術グループ 染色加工チーム 向井 俊博氏

## インタクト株式会社 (1号館)

設立/1999年 事業内容/HPLCカラムの開発製造販売

### オンリーワンのカラム開発で 国際ビジネスの成功を目指す



オンリーワンの製品で信頼の高いHPLCカラム



取締役COO 矢澤 到氏

### 幅広い物質分析に不可欠な 「カラム」製造ひとすじ

物質の定量分析に欠かせない技術HPLC(高速液体クロマトグラフィー)。インタクト(株)は、その装置の心臓部ともいべき円筒の器具「カラム」を専門に開発製造販売、オンリーワンの製品技術で着実に業績を伸ばしている。

カラムとはステンレスの円筒にシリカゲルやポリマーゲルなどを充てんした器具で、流し込まれた物質を分離する働きを担う。分析の対象となる物質によって充てん剤や円筒のサイズにさまざまな種類がある。医薬品分野で新薬の探索から品質管

理まで薬品分析に用いられるほか、犯罪捜査や違法薬物検査、食品、ライフサイエンス、工業材料、環境分析など、使用範囲は幅広い。同社では現在およそ2000種類のカラムを製造、製薬のトップメーカーをはじめ、国内外の企業や研究所・大学など数万人のユーザーへ納入している。

### 個を生かした「ものづくり」で 米国での成功を目指す

取締役COOの矢澤到氏は、化粧品メーカーでHPLCのエンドユーザーの経験を積み、カラムメーカーや大手装置メーカーで技術開発に携わった後、「個が生かせる」仕事として独立、パートナーの

則内健司氏と共に起業。いわば「カラムの前後左右」を知り尽くした経営者だ。事業発展の要諦はそうして積み重ねたキャリアだといい、それを「念」の一語で表す。「念」がこもったカラムの開発・製造・販売こそ、同社のモットーであり矜持、他社が真似できない特長だという。

日本のカラム専門メーカーとして初めて米国に現地法人を設立し、約40カ国へ輸出するなど、世界を舞台にビジネスを展開する。「アメリカで黒字化したら本物」と話す矢澤取締役。2013年、新たに開発した製品数種類を携え国際ビジネスの中心地、米国でのさらなる売上拡大に、Made in Kyotoの「ものづくり」マインドで挑む。

### KRP地区支援機関:京都市産業技術研究所/山本 佳宏氏 企業技術者のための能力開発コースを設定

インタクト(株)様のようなバイオ分野の中小企業を対象とする支援は、加工技術グループのバイオチームが担当。酒造メーカーを中心に食品分析や微生物試験などを行うほか、企業技術者のポテンシャルを上げるためのORT事業(企業研究能力開発事業)を実施しています。これは技術者が各自で立てた計画に基づ

いて分析技術などの製品開発ノウハウを習得するための支援で、週1回程度の研修を行うもの。インタクト(株)様では、複数の分析装置で自社製品の評価ができるような技術を身につけるために利用されています。また高性能機種の使用ニーズには、バイオ計測センターと連携を図って対応しています。



京都市産業技術研究所 加工技術グループ バイオチーム 研究担当課長補佐 山本 佳宏氏



## 米国知的財産IP法務セミナー

～グローバルマーケットに向けての知的財産権の有効活用～

日時: 2013年2月6日(水) 13:30～16:30 会場: KRP4号館2階ルーム1  
主催: 米国総領事館 商務部 共催: 京都リサーチパーク(株)  
後援: (一社)京都発明協会 協力: 近畿経済産業局、(公財)京都産業21



### 改訂された米国特許法とIPの“いま”をレクチャー

年々グローバル化が進むなかで、知的財産(IP)の保護と有効活用は大きな課題となっている。技術、情報、サービスなどのIPは非常に重要な商品であり、まさに資産。昨年9月、米国特許法が先発主義から先願主義に歴史的転換を遂げたことで、アメリカ国内はもとより世界中の特許法務は対応の変化を求められている。今回、米国総領事館商務部の主催で開催された本セミナーでは、アメリカでIPを所有・取得を予定する日本企業や研究機関に向けて、日米の法務専門家および企業がIPの有効活用に関する解説やアドバイスをを行った。セミナーは米国総領事館商務部首席商務領事ジョン・フレミング氏の挨拶で開

幕。最初にアメリカでIP専門の法務を行うルーカス&マーカンティ弁理士事務所のドナルド・ルーカス氏(パートナー・米国弁理士)が、米国特許法改正に伴う特許審査手続の変更点について詳しく解説された。続いて同事務所のロバート・マイケル氏(同)は、開示義務と不正行為の変更点および新しく導入された補充審査について説明。経験豊富な弁理士による米国特許法の最新情報に、参加者は熱心に耳を傾けていた。日米に精通し大阪で活躍するアメリカ人弁護士、北浜法律事務所のジェリー・メステッキー氏は、日本企業のためのIP活用法を紹介。自身の経験に基づく事例も交えながら、ライセンス供与の



価値、よくある誤解点、具体的なヒントなどをアドバイスした。また、京セラ(株)法務知的財産本部・部品知的財産部長の竹宮啓介氏は、米国サンディエゴ市にて運営する同社知財部米国分室の試みと意義について説明。米国分室開設に至るまでの経緯から具体的な業務内容や成果、今後の展望などを話された。続く約15分間の質疑応答終了後は地下1階バンケットルームにて名刺交換会が催され、講演者への質問や参加者同士の情報交換で盛り上がった。

## KRP成長企業支援部 イベントレポート

**1/15 第32回 宇治市産業振興センター・宇治ベンチャー企業育成工場 経営セミナー**  
「顧客の信頼アップで売り上げもアップ」～メディアが記事にしたいと思うプレスリリースのポイント～

(株)PRリンク 代表取締役 神崎英徳氏を講師に招き、広報セミナーを開催した。顧客の「安心感」「信頼」を高めるためには、マスメディアでの記事掲載が効果的だと説明。プレスリリース作成のコツや、掲載時の効果をアップさせるためのWEBページの整備などについて述べた。

**1/18 知財ビジネスマッチング2013 in 岩手 東北で初開催!**  
大企業の特許を利用した製品開発を目指して



東北で初の開催となる「知財ビジネスマッチング2013 in 岩手」(主催岩手県)に、震災復興を目指す県内中小企業が大企業の特許を利用して新製品作りをするため参加した。KRP(株)では、参加大企業の紹介や運営に協力。当日は約100名が参加、大企業3社の特許紹介や個別面談が行なわれ、今後のマッチング成果が期待されている。

**1/19 モノポリーライト in 京都 Vol.22**



KRP町家スタジオで毎月恒例の「モノポリーライト」が開かれた。日本モノポリー協会による「ボードゲームを活用し交差術を学ぶ」ことを目的としたイベントで、今回で22回目となる。1月は、お年玉企画として初参加の方へモノポリーボードがプレゼントされた。

**3/1 3月24日(日)まで開催!**  
「my home town わたしのマチオモイ帖」

京都・滋賀の「マチオモイ帖」を KRP町家スタジオで展示中

昨年、瀬戸内の小さな島から生まれた1冊の「マチオモイ帖」は、共感した全国のクリエイター約340組が参加する展覧会へ発展し、大きな反響を呼んだ。そして今年、春がすぐそこまで来ている節目の季節に、より地域に根差した大小さまざまな展覧会を全国13拠点で同時に開催。町への思いや人との繋がりから生まれるあたたかさを、日本中の人々と共に感じよう。13拠点のひとつ、KRP町家スタジオでは京都・滋賀の40人を越えるクリエイターの作品を2013年3月24日(日)まで展示している。クリエイターそれぞれの、どんなマチオモイに出会えるかぜひ足を運んでほしい。



詳しい内容は WEBでチェック!

●KRP成長企業支援部ブログ  
<http://www.krp.co.jp/sks/vio/newsblog>

●町家日記  
<http://blg.krp-machiya.co.jp>



## KRP PEOPLE

KRPPeopleはKRPエリアを拠点に活躍するすべての人、その意外な素顔に迫ります。



クロスステジオ 代表取締役  
**株式会社x10studio** 代表取締役  
**松本 篤史氏** (スタジオ棟)

和歌山県出身。大阪芸術大学芸術学部映像学科を卒業後、映像制作会社(株)明通企画でテレビCMの制作全般に携わる。1998年からCG制作を始め、大阪でCG制作とポストプロダクションを融合した先駆的なスタジオを共同設立。(株)リンクス・デジワークス(後に(株)IMAGICA)に入社、同社のCG制作チーフを経て2012年京都で(株)x10studioを設立。

### 京都から世界に向けた映像コンテンツを! 個性が活かせるワークフローづくりが夢です。

ゲームの中で使用される映像コンテンツや企業のPRビデオ(VP)、CMやアニメ映画のCG制作を中心にを行っています。最近では、興和(株)のVPやアニメ「ガールズ&パンツァー」、6月に公開予定の東宝映画「リアル〜完全なる首長竜の日〜」などにも制作参加しています。

映像に興味を持ち始めたのは、「E.T.」がきっかけでした。テレビとは違ったキラキラしたダイナミックな映像効果が子ども心にも印象的でした。ただ、スケールが大きすぎて何か遠い世界のものに感じていました。しかし、高校生の頃に、レオス・カラックス監督の「汚れた血」を観て、大規模な装置や映像効果などは使わなくて

も衝撃的な映画を作り出せることを知り、「自分にも映画が作れる」と思ったのです。それからは、大学に潜り込んで映画制作を手伝ったり、自分が大学生になってからはレンタルビデオ店でアルバイトをし、フィルム代を稼いでは映画を作ったり……と、「映画漬け」の毎日。大学卒業後、CG制作に携わる先輩に刺激を受け、CGの魅力に一気にハマりました。その後は大阪と東京で、TVCMやVPを中心に多くの制作に関わりました。企業の中で制作をするうちに、もっと自分の思いや技術を反映した作品を作りたいと思うようになり、独立を決めました。東京で大手プロダクションの仕事をしていたCGデザイナーでプロデューサーの小宮に独立の話をしたところ、「もう一步踏み込んだ仕事したい」という、同様の思いがちょうど重なり、この会社の旗揚げに参加してくれました。

生産ライン的な仕事ではなく、もっと個人の知識やセンス、技術を活かした作品を生み出し関西の映像コンテンツの底上げを目指していきたいです。そしてもう一つ、ハリウッドで活躍するスタッフが日本に帰ってきて、日本ではその技術を発揮できる仕事が見つからないという、非常にもったいない状況であることも気になっています。制作費がかかりすぎる大規模な仕事でなく、中規模で質の高い仕事ができる映像制作のワークフローをつくれれば、京都にいながら海外の仕事ができると思います。そのワークフローの開発にも取り組んでいきます。ちなみに「x10(クロスステジオ)」とは、



CGデザイナー / 取締役 小宮 彬広氏

一条から十条まである京都の通りにちなんだネーミングです。多くの辻(クロス)で多くの人と出会って、京都から世界に広がる映像コンテンツをどんどん作っていきたいです。

## NEWCOMER

新しい入居企業様の紹介

**XIO 株式会社x10studio**  
ゲーム・アニメ・プロモーションビデオ・映画・TVCMなどのコンピューターを使用した映像の作成、実写映像の加工、特殊効果作成などを主な業務としています。

株式会社x10studio ●TEL/075-874-4485 ●FAX/075-874-4485  
松本 篤史 代表取締役 ●MAIL/cross10@x10s.jp ●URL/http://www.x10s.jp/

スタジオ棟

## 京都 COOLESS 株式会社京都クーレス

KRP2号館2F

京都府グリーンカンパニー認定企業として、京都府全域の府施設・市町村施設・商店街・中小企業・地域における省エネ・創エネを加速するため、次世代ESCO(クーレス)事業を地産地消で推進しております。更に、削減益の再投資の仕組み作りや、府内の省エネ・創エネ情報を集約した「見える化Webシステム」を開発導入して、府内のエネルギー自立を目指します。

株式会社京都クーレス ●TEL/075-315-8884 ●FAX/075-315-8885  
千葉 勝久 代表取締役社長 ●MAIL/info@cooless.kyoto.jp ●URL/http://cooless.kyoto.jp



### KRPサークル紹介

## KRPテニスクラブ(硬式)

部員数:10人 活動日:月2回(第1土曜、第3土曜)2時間  
場所:主に西院公園テニスコート 会費:入会金1,000円、1回500円

### 多忙な毎日のリフレッシュや健康管理に 戸外でボールを追いかけてみませんか?

KRPでは数少ないスポーツサークルです。月2回の無理のないペース、1回500円という低料金で、ダブルスを中心に硬式テニスを楽しんでいます。初心者はもちろん家族参加や体験入会も大歓迎です。



### 代表者インタビュー



株式会社アンカーアンドビジョン  
代表取締役  
伊藤 吉郎(いとう・よしろう)氏

テニスの魅力は、イメージどおり“パコーン”と会心の一撃が打てた時でしょうか。仕事に追われる毎日、ときには頭の中を「カラッポ」にして動きまわると、仕事上の悩みも吹き飛び、新しいアイデアが閃きます。異業種交流と健康促進の場として設立したクラブです。元テニス部の方やスクール経験のある方などラケットが眠っていたら再開してみませんか。もちろん、初心者も大歓迎です。今年には京都市のトーナメントにも参加して日頃の練習の成果を試す予定です。

### お問い合わせ先

活動内容や今後のテーマなどについてお気軽にお尋ねください。

(株)アンカーアンドビジョン  
伊藤 吉郎

E-mail: info@anchor-and-vision.co.jp  
Facebook: <http://www.facebook.com/Krptennisclub>

### デイリパ京都で

## 「クッキングde京都婚活」

### 食育をテーマに「京都」らしい婚活を 京都市が婚活支援事業を開催



京都市は、仕事と家庭、社会貢献が調和できる「真のワーク・ライフ・バランス戦略」のリーディング・プロジェクトとして、京都 YEG との共催で「クッキングde京都婚活」を大阪ガス・デイリパ京都で開催した。このイベントは、大阪ガス(株)京滋リビング営業部が京都市婚活支援事業実行委員会より受託し、企画・運営している。

今回は、1,000名を超える応募の中から抽選で選ばれた128名の男女が参加。「食育」をテーマに、「食材選び買い物ゲーム」や京野菜の畑菜や京都牛などの特産物を使用したレシピ4品の調理に取り組み、男女ペアやグループでの共同作業を通じ交流を深めた。

京都市勤労福祉青少年担当 石田信幸部長は、「好評だったので、次の開催も検討したい。人生のパートナーとの出会いと繋がりを築くきっかけづくりとしてほしい」と述べた。



## KRPの媒体で御社の PRをしませんか?



WEBサイト



メールマガジン



インフォメーション  
ディスプレイ

入居企業の皆さまの[PR]をお手伝いさせていただきます。  
ぜひニュースリリースをお寄せ下さい。

- 新製品・新技術の開発、新サービスのリリース
- 他社との共同開発や事業提携
- 経営、社会貢献などに関するニュース

お問い合わせ: 京都リサーチパーク(株) 営業開発部 075-315-8342 eikai@krp.co.jp  
詳しくは<http://www.krp.co.jp/newsrelease/>

※「KRP PR媒体への情報掲載に関する規約」に同意いただいた上で投稿をお願い致します。上記により投稿情報は掲載されない場合があります。また、掲載の判断、媒体、掲載時期・期間は、弊社にて決定させていただきます。予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

**編集後記** アベノミクス(安倍ノミクス)という言葉が世界を駆け巡って議論を呼んでいるそうです。円安株高で大手の輸出企業は一息ついているようですが、KRPの皆様までその効果は現れているでしょうか?昨年とりあげたようにKRP地区内でも海外で活躍される企業が増えています。円安は必ずしもよい影響だけではないですが、国内の景気がよくなって少しでも皆様によい風が吹くことを祈っています。

**配送・停止・変更のご希望は、右記内容を明記の上**  
krppress@krp.co.jpへ

**配送** ① 〒、住所 ② 団体名 ③ 部署名 ④ お名前 ⑤ TEL/FAX ⑥ メールアドレス ⑦ 「配送希望」 ※定期配送も可能です  
**停止** ⑧ ご登録No.(封筒宛名ラベル右下) ⑨ 「配送停止希望」  
**変更** ①~⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No.

vol.129  
March  
2013

**KRPRESS** www.krp.co.jp

○編集・発行/京都リサーチパーク株式会社 〒600-8813 京都府京都市下京区中堂寺南町134番地 (ASTEM棟4階)  
TEL: (075) 315-8342 FAX: (075) 322-5348  
○編集長/池田 博文 ○取材・編集・デザイン・制作・印刷・配送管理/株式会社情通レゾナンス

**KRP News Mail 配信中**  
メルマガをリニューアルしました!  
<http://www.krp.co.jp/pub/maga.html>